

## 地域貢献を通して生徒の可能性を伸ばす学校を目指して

校長 高橋良一

本日は、伊保内高等学校のHPをご覧いただきまして、誠にありがとうございます。

本校は、昭和24年(1949年)に福岡高等学校の定時制分校として開校し今年で70年目、昭和48年に伊保内高等学校として独立以来、今年で46年目を迎える全日制普通科の高校です。

この歴史の中で、本校は、小規模ながら、諸活動において大きな成果を挙げてきております。

部活動におきましては、ここ10年間で、弓道部女子が、平成18年度と平成22年度の県高校総体での団体優勝を成し遂げ、平成22年度に岩手県代表として出場した沖縄インターハイにおいて全国第3位という輝かしい歴史を刻みました。また、硬式野球部は、平成25年度に第86回選抜高校野球「21世紀枠」の岩手県推薦校となり、惜しくも東北推薦校には選ばれなかったものの、我々に大きな夢と希望を与えてくれました。

文化面でも、平成19年度に県高校総合文化祭美術工芸部門で美術部生徒の作品が特賞に選ばれ、翌年の全国高校総合文化祭に出品され、平成26年度には国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール県大会に出場した生徒が最優秀賞に輝き、翌年の全国高校総合文化祭弁論部門に出場し文化連盟賞を受賞しております。

また、家庭クラブ委員会は、平成20年度に地域の食文化の継承をテーマとした研究で家庭クラブ県大会最優秀賞を受賞し東北大会に出場し優秀賞に輝きました。

郷土芸能委員会の「江刺家神楽」は、平成27年度の県高校総合文化祭で優良賞を受賞するなどのこれまでの活動の成果が評価され、県民俗芸能団体協議会の推薦を受けて、平成28年度広島県で開催された「第6回高校生の神楽甲子園安芸高田」に出場し、以来、翌年度の第7回神楽甲子園にも連続して出場し、さらに、今年度も出場の予定です。

平成28年度には、県高校総合文化祭郷土芸能発表会で優秀賞一席(県2位)に入賞、平成29年度には、同郷土芸能発表会で優秀賞二席(県3位)に入賞し、全国高校総合文化祭宮城大会に初出場優良賞(全国3位)に輝きました。

また、部活動以外でも、昭和55年から継続している「地域子ども読書会」は、今年で39回目を数える本校の伝統的な活動になり、平成27年度に第30回時事通信社「教育奨励賞」優良賞、平成28年度は「小さな親切実行賞」を受賞するなど、地域に貢献する教育活動として県内外から注目を浴び、高い評価をいただいております。

このように地域の方々に支えられ、地域に根ざした教育活動が高く評価されておりますことは、非常に喜ばしいことと感じております。

小規模校であり、施設・設備等の物的資源や指導者等の人的資源に決して恵まれているとは言えない本校の生徒たちが、このように様々な活動において成果を挙げることができるのは、ひとえに地域の皆様・九戸村の物心両面にわたる暖かいご支援とご声援のおかげであると、改めて感謝いたします。

本校の生徒は、純朴で素直な生徒が多く、日々の学習に真剣に取り組む傍ら、部活動、生徒会活動、郷土芸能継承活動と、一人何役もの活動に一生懸命取り組んでおります。

保護者の方からは、今まで経験したことのない役割を与えられ心配していたが、先生方とこういふふうにやってみようなどと話し合い活動していく中で、学校に行くのが楽しみになっているというお声をいただきました。

このような小規模校だから直面せざるを得ない状況に生徒たちが自分たちなりに一生懸命取り組むことで、自分の存在感や自己肯定感を感じることで、そこに小規模校である本校の人材育成の根幹があると考えています。逆転の発想で、大規模校ではない小規模校であることが、生徒の将来の可能性を無限に伸ばすことにもつながると感じております。

ここ九戸も、少子高齢化や人口減少などの課題に直面していますが、この素晴らしい生徒たちの資質を伸ばし、地域に貢献できる人財を育成することが、伊保内高等学校の責務と考えておりますので、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。